しむ。此の演説会は他日の労働争議勃発と相関係するところ深し。

争議中の演説会

争議勃発後、労働者は示威運動と共に二大武器として到る処に演説会を開催せり。然し最初は川崎か三菱其の他一緒にして隔日に一回位の程度にて開催したり。然るに七月十四日に至り兵庫県は示威運動を禁じ、尚屋外集会に対しても制限を加へたるを以て爾来言論戦のみを以て戦ふこととせり。演説会開催の回数著しく、尚川崎と三菱との要求條項其の他に多少異なる点あるを以て各自主催として開催することにせしなり。

会場 — 会場としては主として左記の処を用ひたり。

住所	会場名	入場者数(定員)	主催者
多聞通二丁目	日本劇場	(一千五百名)	川崎
宮山町	明治座	(一千名)	川崎
西開地六軒道	三国館	(五百名)	川崎三菱
兵庫[illegible]	南栄座	(五百名)	三菱
中庄通二丁目	和田之席	(三百名)	三菱
~~あみだ寺~~	あみだ寺	(三百名)	製鋼所ダンロップ
湊川公園口	錦葉館	(千名)	友愛会

尚此の外、聚楽館、月見座、寺等にて開きたることあるが、毎回大入満員にて開会一時間も前より入場謝絶するを例とせり。(明治座の座主は義侠にて午前八時より午后四